

## SIMILAR COMMODITY RETRIEVAL SYSTEM

**Publication number:** JP8212233

**Publication date:** 1996-08-20

**Inventor:** KANDA MIZUE; OTA IZUMI

**Applicant:** HITACHI LTD

**Classification:**

- international: **G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; (IPC1-7): G06F17/30; G06F17/60**

- European:

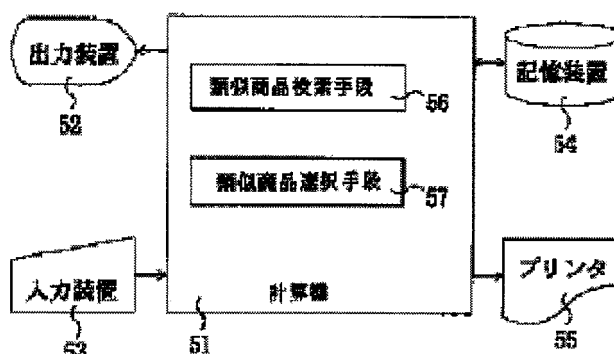
**Application number:** JP19950016825 19950203

**Priority number(s):** JP19950016825 19950203

Report a data error here

### Abstract of JP8212233

**PURPOSE:** To retrieve a similar commodity matching with necessity at the time of retrieval by calculating the similarity of the commodity from similarity information and significance at every item and selecting the similar commodity. **CONSTITUTION:** The item for which the similarity is to be judged, is weighted by a similarity which a person who executes retrieval intends to retrieve. An input device 53 receives the input of weighting for every item. The input of the detection reference value of similarity which the person who executes retrieval intends to retrieve is received from the input device 53. Commodity information on the commodity whose similarity is to be judged, is taken out from a storage device 54 and similarity masters for every item are read from the storage device 54. Similarity for every item to the commodity which is set, is retrieved. The similarity of the commodity which is taken out, is calculated from retrieved similarity for every item and the weighting of the item which is inputted. The commodity which is to be detected as the similar commodity is selected from the calculated similarity of the commodity and the retrieval reference value of similarity which is inputted. The selected similar commodity is outputted to an output device 52.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-212233

(43) 公開日 平成8年(1996)8月20日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/30 17/60		9194-5L	G 0 6 F 15/ 403 15/ 21 15/ 40	3 5 0 C Z Z
		9194-5L		審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平7-16825

(22) 出願日 平成7年(1995)2月3日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 神田 瑞絵

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12

株式会社日立製作所情報システム事業部内

(72) 発明者 太田 和泉

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12

株式会社日立製作所情報システム事業部内

(74) 代理人 弁理士 秋田 収喜

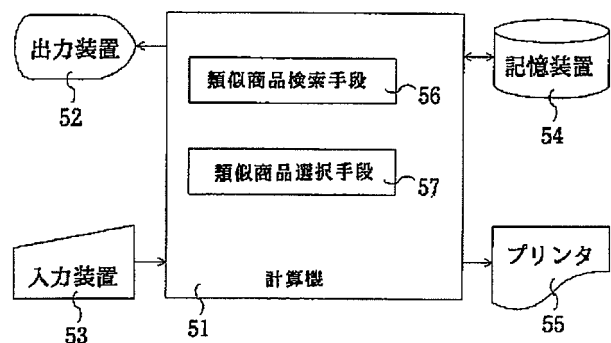
(54) 【発明の名称】 類似商品検索システム

(57) 【要約】

【目的】 類似商品の検索精度を向上することと、検索者の感性や検索時の場面に合致した類似商品を検索すること。

【構成】 商品の特徴を項目別にまとめた商品情報とその項目間の関連を示した項目関連情報と項目毎の類似度情報とを格納する記憶手段と、検索対象となる検索対象商品と検索に対する判断基準及び前記項目毎の重要度とを入力する入力手段と、前記記憶手段から商品情報を取り出してその商品における項目毎の類似度情報を検索し、その類似度情報と前記項目毎の重要度とから商品の類似度を算出する類似商品検索手段と、その類似商品検索手段の結果と入力された前記判断基準とから類似商品を選択する類似商品選択手段と、その選択された類似商品を入力する類似商品出力手段とを備える。

図 1



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品の特徴を項目別にまとめた商品情報とその項目間の関連を示した項目関連情報と項目毎の類似度情報とを格納する記憶手段と、  
 検索対象となる検索対象商品と検索に対する判断基準及び前記項目毎の重要度とを入力する入力手段と、  
 前記記憶手段から商品情報を取り出してその商品における項目毎の類似度情報を検索し、その類似度情報と前記項目毎の重要度とから商品の類似度を算出する類似商品検索手段と、  
 その類似商品検索手段の結果と入力された前記判断基準とから類似商品を選択する類似商品選択手段と、  
 その選択された類似商品を出力する類似商品出力手段とを備えたことを特徴とする類似商品検索システム。

【請求項 2】 前記請求項 2 に記載の類似商品検索システムにおいて、前記類似商品検出手段は、類似を判定する商品の複数の項目に関連性がある場合に、その項目内容間を関連付けて商品の類似度を算出することを特徴とする類似商品検索システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、類似商品を検索する類似商品検索システムに関し、特に、衣料品の企画業務、生産業務、物流業務、販売業務に関する一連の業務に係り、衣料品群の中で、特定商品に類似した商品を検索する類似商品検索システムに適用して有効な技術に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】衣料品の企画業務、生産業務、物流業務及び販売業務では、類似商品の仕様を検索して参考にしたり、類似商品の在庫を検索して代替商品として出荷したりすることは、かなり頻繁に行われる。

【0003】従来におけるこれらの類似品の検索作業は、かなりの商品知識を要することから手作業で行われることが多かった。

【0004】また、近年では、消費者の好みの多様化により商品数が膨大になったことから、コンピュータを用いて、衣料品を特徴づけている言語、例えば、ジャケットやブラウスなどのアイテム名称、衿形状や袖形状などのデザイン名称等の項目で商品のデータを管理し、その項目毎で類似商品を検索するものもある。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明者は、上記従来技術を検討した結果、以下の問題点を見いだした。

【0006】衣料品を特徴づける上述した各項目は、それぞれ別な項目であっても、互いに深い関連がある場合もあり、一方の項目が限定されると他方の項目も限定されることが多い。

【0007】(1) (a) 上記従来の類似商品検索システム

ってもそれぞれ別々に計算するため、初めに設定した商品とはかけ離れた商品が検出されてしまうという問題点があった。

【0008】また、衣料品を特徴づけている言語は、かなり感性に左右される商品であり、客観的かつ一義的な類似度の判定のみでは、検索者の意図するイメージに合わない商品が検出されるという問題点があった。

【0009】本発明の目的は、上記問題点を解決するためになされたものであり、検索者の感性や検索時の必要性に合致した類似商品を検索することが可能な技術を提供することにある。

【0010】本発明の他の目的は、類似商品の検索精度を向上することが可能な技術を提供することにある。

【0011】本発明の前記ならびにその他の目的と新規な特徴は、本明細書の記述及び添付図面によって明らかになるであろう。

## 【0012】

【課題を解決するための手段】本願において開示される発明のうち、代表的なものの概要を簡単に説明すれば、下記のとおりである。

【0013】商品の特徴を項目別にまとめた商品情報とその項目間の関連を示した項目関連情報と項目毎の類似度情報とを格納する記憶手段と、検索対象となる検索対象商品と検索に対する判断基準及び前記項目毎の重要度とを入力する入力手段と、前記記憶手段から商品情報を取り出してその商品における項目毎の類似度情報を検索し、その類似度情報と前記項目毎の重要度とから商品の類似度を算出する類似商品検索手段と、その類似商品検索手段の結果と入力された前記判断基準とから類似商品を選択する類似商品選択手段と、その選択された類似商品を出力する類似商品出力手段とを備える。

## 【0014】

【作用】上述した手段によれば、商品の特徴を項目別にまとめた商品情報とその項目間の関連を示した項目関連情報と項目毎の類似度情報とを格納する記憶手段と、検索対象となる検索対象商品と検索に対する判断基準及び前記項目毎の重要度とを入力する入力手段と、前記記憶手段から商品情報を取り出してその商品における項目毎の類似度情報を検索し、その類似度情報と前記項目毎の重要度とから商品の類似度を算出する類似商品検索手段と、その類似商品検索手段の結果と入力された前記判断基準とから類似商品を選択する類似商品選択手段と、その選択された類似商品を出力する類似商品出力手段とを備えることにより、検索者の検索したい類似商品において、類似判断基準及び項目別重要度を、検索者自らが設定することができるので、検索者の感性や検索時の必要性に合致した類似商品の検出が可能となる。

【0015】また、類似商品検索システムにおいて、前記類似商品検出手段は、類似を判定する商品の複数の項

商品の類似度を算出することにより、類似商品の検索時に、初めに設定した商品とかけ離れた商品が検出されるのを防止できるので、類似商品の検索精度を向上することが可能となる。

【0016】以下、本発明の構成について、実施例とともに説明する。

【0017】なお、実施例を説明するための全図において、同一機能を有するものは同一符号を付け、その繰り返しの説明は省略する。

【0018】

【実施例】本実施例では、衣料品の類似商品を検出する場合を取り挙げ、以下に説明していく。

【0019】図1は、本発明の一実施例である類似商品検索システムの構成を説明するためのブロック図である。

【0020】本実施例の類似商品検索システムは、図1に示すように、類似商品検索手段56及び類似商品選択手段57を有する計算機51と、ディスプレイ等の出力装置52と、キーボード、マウス等の入力装置53と、商品情報等を格納する記憶装置54、類似商品の選択結果を出力するプリンタ55とから構成される。

【0021】類似商品検索手段56は、入力装置53より、類似商品を検索したい商品の設定及び検索者の検索したい類似性の重み付け（項目毎の重要度）を受け付け、それらと記憶装置54に格納されている商品情報と項目内容の類似度を示したテーブルである項目別類似度マスタから商品の類似度を検索するものである。

【0022】類似商品検索手段57は、入力装置53より、検索者の検出したい類似度の基準値の入力を受け付け、その基準を満たす類似商品を上記類似商品検索手段56にて検索した商品の類似度の中から選択するものである。

【0023】出力装置52は、計算機51から出力される情報を何種類かの画面として表示する。例えば、ユーザからの情報表示要求を受け付けるための画面、情報表示要求に合致した各種の情報を表示するための画面、または表示した情報への要求を受け付ける画面等であり、その他必要に応じて、表示画面が用意される。

【0024】入力装置53は、キーボード、マウスなどであり、必要に応じてイメージスキャナ等の画像入力装置が用意される。

【0025】記憶装置54には、類似商品検索に必要な各種の情報が格納される。例えば、商品名称、アイテム名、素材名などの商品情報、類似度検索項目別の類似度マスタ、などである。また、各手段を実現するためのプログラムや処理上必要となるデータも記憶装置54に格納される。

【0026】プリンタ55は、ラインプリンタ、レーザープリンタなどであり、必要に応じて、ディスプレイ

る。

【0027】次に本実施例の類似商品検索システムにおける商品情報及び項目別類似度マスタについて説明する。

【0028】図2は、商品情報のレコード構成図である。尚、ここでレコードとは、一商品に関するデータを呼び、これらが複数集まってファイルを構成する。

【0029】本実施例の商品情報61は、記憶装置54に既に格納されており、以下の複数項目を含んでいる。

10 【0030】それらは、図2に示すように、商品品番62、商品名称63、アイテム名64、デザイン65、素材名66、品質67、イメージ68等であり、既に入力装置53から入力されている。

【0031】商品品番62、商品名称63は、共にその商品を一意に特定できる情報である。アイテム名64は、その商品が、どの品目に属しているかを表す情報であり、例としては、スカート、ジャケットなどがあげられる。

20 【0032】デザイン65は、その商品が、どのようなデザインの特徴を持った商品かを表す情報であり、いくつかの要素69を含んでいる。

【0033】その要素69は、該当商品がどのアイテムに属しているかによって決定し、その数量は任意に増減する。例えば、アイテム名がスカートの場合は、デザインの要素としてはスカートの種類、スカート丈、などがあげられ、アイテム名がジャケットの場合は、デザインの要素としては衿形状、袖形状などがあげられる。

30 【0034】そして、その各々の要素に該当商品のデザインの特徴を表す情報を含んでいる。例えば、スカートの種類の場合はタイトスカート、スカート丈の場合はミニなどである。

【0035】素材名66は、その商品に使用されている素材の名称を表す情報であり、例としてはビケ、ローン、サージなどが考えられる。

【0036】品質67はその商品に使用されている素材の組成を表す情報であり、一般的に、コットン100%、あるいはウール80%/ナイロン20%などのように、パーセント表示されている。

40 【0037】イメージ68は、その商品の特徴づける感性的なキーワードであり、例としてカジュアル、エレガンスなどである。

【0038】図3は、項目別類似度マスタ71のレコード構成図である。これも同様に、既に入力装置53より入力されており、記憶装置54に格納されている。

【0039】図3に示すように、項目別類似度マスタ71における項目72は、類似度を判定する項目であり、アイテム名、デザイン、素材名などである。

【0040】項目別類似度マスタ71は、項目72以外に類似度算出のための項目73、類似度判定のための項目74、類似度表示のための項目75などを含んでいる。

ジャケットなどと表される。

【0041】その項目の横軸と縦軸とで表される部分が、横軸の内容と縦軸の内容との類似度75であり、例えば、同一内容を1とすると、スカートとパンツでの類似度は0.3などと表される。

【0042】縦軸は、設定商品の項目内容73であり、並んでいる項目内容の中から設定した商品の該当項目内容に合致するものを検索する。

【0043】横軸は、検索商品の項目内容74であり、同様に並んでいる内容の中から類似検索中商品の該当項目内容に合致するものを検索する。

【0044】中には、設定した商品の項目の内容により、自動的に決定するよう関連付けられている項目（子項目76）が存在する。これは、例えば、親項目のアイテム名で設定した商品がスカートだった場合、子項目のデザインでは、図3に示すように、自動的にスカートのデザインの類似度マスタが選択される。

【0045】また、項目の内容が、更にいくつかのグループに分かれた階層構造をしている場合がある。これを階層項目の要素77と呼び、その例として、スカートのデザインという項目の中におけるスカートの種類、スカート丈などが挙げられ、それぞれ固有の類似度マスタ71を持っている。

【0046】以上、本実施例で扱う情報についての説明してきたが、本発明では、各情報における形式はこれに限定されない。

【0047】図4は、本実施例の類似商品検索システムにおける類似商品の検索手順を説明するためのフローチャートである。

【0048】以下、このフローチャートに従い、類似商品の検索についてを説明する。

【0049】本実施例の類似商品検索システムにおける類似品の検索は、まず、入力装置53より、類似商品を検索したい商品の商品品番62又は商品名称63の入力を受け付け、記憶装置54より、該当する商品の商品情報61を読み出す（ステップ111）。

【0050】そして、類似性を判定する項目に、検索者の検索したい類似性によって重み付けを行い、その項目別の重み付けの入力を入力装置53より受け付ける（ステップ112）。

【0051】これは、例えば、図8に示す表示画面のように、類似判定項目として、アイテム名、デザイン、素材名、品質、イメージ、といった項目があるとする、全体を100%として、アイテム名に40%、デザインに30%、素材名10%、品質10%、イメージ10%といったように、検索者の検索したい項目のパーセンテージを大きくして重みを付ける。

【0052】続いて、検索者の検索したい類似度の検出

【0053】これは、図9に示す表示画面のように、類似度80%以上の商品を選択するというように入力する。

【0054】そして、記憶装置54より、類似度を判定する商品の商品情報61を取り出し、記憶装置54より、項目別類似度マスタ71を読みだし、ステップ111で設定した商品との項目別類似度を検索する。検索した項目別類似度とステップ112にて入力を受け付けた類似性を判定する項目の重み付けとから、取り出した商品の類似度を計算する（ステップ114）。

【0055】ステップ14にて計算した商品の類似度と、ステップ13より入力を受け付けた類似度の検出基準値から、類似商品として検出すべき商品を選択する（ステップ115）。

【0056】その選択した類似商品を出力装置52に出力する（ステップ116）。

【0057】このステップ114が類似度検索手段の処理であり、ステップ115が類似商品選択手段の処理である。

【0058】次に、図5を用いて、ステップ114の商品の類似度検索について詳細を説明する。

【0059】ステップ114の商品の類似度検索は、まず、記憶装置54より、類似度を計算する商品の商品情報61を任意で一つ読み出す（ステップ201）。

【0060】続いて、記憶装置54より、独立している項目、または子項目を持つ親項目のうち一項目の類似度マスタ71を読み出す（ステップ202）。例えば、アイテム名とデザインという項目は親子関係にあり、親項目のアイテム名の内容により子項目のデザインの内容が変わってくる（アイテム名＝スカートであればデザイン＝スカート丈／スカート種類、アイテム名＝ブラウスであればデザイン＝袖丈／衿形状など）ので、アイテム名の類似度マスタをまず読み出す。

【0061】ステップ202で読み出した項目72の類似度マスタ71と、ステップ111にて読み出した商品情報61の該当項目の内容73、及びステップ201にて読み出した商品情報の該当項目の内容74より、ステップ201にて読み出した商品の該当項目の類似度75を検索する（ステップ203）。

【0062】ステップ202にて読み出した項目内容が、独立していて子項目76を持たない場合、または子項目を持つ親項目内容であるが、親項目の類似度＝0の場合はステップ207へ進む。子項目を持つ場合で、かつ親項目の類似度≠0の場合は、ステップ205へ進む（ステップ204）。

【0063】ステップ202にて読み出した親項目に関連した子項目76のうち、ステップ11にて読み出した商品情報の該当項目内容73により決定される子項目76の中から一項目の類似度マスタ71を読み出す（フ

度≠0の場合には、子項目であるデザインの類似度マスタを読みだす。

【0064】ステップ205で読みだした子項目76の類似度マスタ71と、ステップ11にて読みだした商品情報の該当項目の内容73及びステップ201にて読みだした商品情報の該当項目の内容74より、ステップ201にて読みだした商品の該当項目の類似度75を検索する(ステップ206)。

【0065】そして、全ての類似度判定項目の検索を終了した場合はステップ208へ進み、まだ、検索を終了していない類似度判定項目がある場合はステップ202へ進む(ステップ207)。

【0066】ステップ112にて入力を受け付けた各判定項目の重みと、ステップ203及びステップ206にて検索した項目別類似度75とを掛け合わせ、検索者の付けた重みを加味した各項目の類似度を計算する(ステップ208)。例えば、項目別類似度が0.6で、検索者の付けた該項目の重みが30%だったとすると、該項目の類似度は、結局 $0.6 \times 0.3 = 0.18$ となる。

【0067】ステップ208にて算出した、各項目別の類似度の合計を算出する(ステップ209)。

【0068】その後、すべての商品の類似度を計算した場合は終了し、まだ類似度を計算していない商品が残っている場合はステップ201へ進む(ステップ210)。

【0069】次に、図6を用いて、ステップ203の項目別類似度検索について、詳細を説明する。

【0070】ステップ203の項目別類似度検索は、ステップ202にて読みだした類似度マスタ71の内容が、いくつかの階層項目の要素77に分かれてある場合はステップ302へ進み、階層項目の要素77がない場合はステップ308へ進む(ステップ301)。例えば、スカートのデザインという項目の場合、階層項目の要素77としてスカートの種類、スカート丈などがあり、それぞれ類似度マスタを持っている。

【0071】そして、記憶装置54より、ステップ202にて読みだした項目の持つ類似度マスタの階層項目の要素77のうち、一要素の類似度マスタ71を読みだす(ステップ302)。

【0072】ステップ11にて読みだした商品情報の中の該当要素の内容73を読みだす(ステップ303)。

【0073】ステップ201にて読みだした類似度検索中の商品情報の中の該当要素の内容74を読みだす(ステップ304)。

【0074】ステップ303の内容73と、ステップ304の内容74及びステップ302の類似度マスタ71より、ステップ201にて読みだした商品の該当要素の類似度75を検索する(ステップ305)。

【0075】ステップ202にて読みだした項目の持つ

7へ進み、まだ検索していない要素がある場合は、ステップ302へ進む(ステップ306)。

【0076】ステップ305にて検索した全ての要素の類似度75の平均値を算出する(ステップ307)。

【0077】ステップ11にて読みだした商品情報の中の該当項目の内容73を読みだす(ステップ308)。

【0078】ステップ201にて読みだした類似度検索中の商品情報の中の該当項目の内容74を読みだす(ステップ309)。

【0079】ステップ308の内容73と、ステップ309の内容74及びステップ202にて読みだした項目の類似度マスタ71より、該当項目の類似度75を検索する(ステップ310)。これは、図3を用いて説明すると、例えば、アイテム名という項目の類似度検索の場合、ステップ308の内容73がスカート、ステップ309の内容74がパンツとすると、スカートを縦軸、パンツを横軸に検索し、合致したところのマトリクスの箇所0.3が該項目の類似度75となる。

【0080】次に、図7を用いて、ステップ206の子項目の類似度検索方法について詳細に説明する。

【0081】ステップ205にて読みだした類似度マスタの内容が、いくつかの階層項目の要素77に分かれてある場合はステップ402へ進む。要素がない場合はステップ408へ進む(ステップ401)。

【0082】ステップ205にて読みだした子項目76の持つ類似度マスタの要素で、ステップ308の該当親項目の内容73により決定される階層項目の要素77のうち、一要素の類似度マスタ71を、記憶装置54より読みだす(ステップ402)。これは、図3を用いて説明すると、親項目であるアイテム名の類似度検索でステップ308の内容73がスカートであるとして、ステップ205にて読みだした子項目であるデザインの階層項目の要素77は、スカート種類、スカート丈などである。

【0083】ステップ11にて読みだした商品の商品情報の中の該当要素の内容73を読みだす(ステップ403)。

【0084】ステップ201にて読みだした類似度検索中の商品情報の中の該当要素の内容74を読みだす(ステップ404)。

【0085】ステップ403の内容73と、ステップ404の内容74及びステップ402の類似度マスタ71より、ステップ201にて読みだした商品情報の該当要素の類似度75を検索する(ステップ405)。これは、図3を用いて説明すると、スカート種類の類似度検索の場合、ステップ403の内容73がタイト、ステップ404の内容74がフレアとすると、タイトを縦軸に、フレアを横軸に検索し、合致したマトリクスの箇所0.6が該要素の類似度75となる。

の持つ全ての階層項目の要素77の類似度を検索した場合、ステップ407へ進み、まだ検索していない要素がある場合は、ステップ402へ進む（ステップ406）。

【0087】ステップ405にて検索した全ての要素の類似度75の平均値を算出する（ステップ407）。

【0088】ステップ11にて読みだした商品情報の中の該当項目の内容73を読みだす（ステップ408）。

【0089】ステップ201にて読みだした類似検索中の商品情報の中の該当項目の内容74を読みだす（ステップ409）。

【0090】ステップ408の内容73と、ステップ409の内容74及びステップ205にて読みだした子項目の類似度マスタ71より、該当項目の類似度75を検索する（ステップ410）。

【0091】最後に、本実施例の類似商品検索システムにおける類似商品の検索を図10を用いて具体的に説明する。

【0092】検索者が、類似商品検索対象の商品として、図10に示すように、商品品番：MN0001～イメージ：キャリアを入力し、その類似商品検出基準値：80%と、その重み付けとして、アイテム名：40%～イメージ：10をそれぞれ入力したとする。

【0093】ここで、図10に示すように、記憶装置に格納されている商品A（フレアスカート）が読み込まれてきたとすると、その商品Aにおける項目の類似度（スカート：1.0～エレガンス：0.7）を項目別類似度マスタから読み込む。

【0094】そして、重み付けと類似度を掛けた値（アイテム名：0.4～イメージ：0.07）を各項目毎に算出して、それら算出した値の合計80.5%（0.805）を求める。

【0095】その算出した値が類似商品検出基準値80%以上であるので、この商品Aは、類似商品として選択され、プリンタ等で出力される。

【0096】このように、次々と商品における類似度を算出し、その値が先に入力した類似商品検出基準値を越えたもの類似商品として選択され、出力される。

【0097】したがって、上述してきたように、商品の特徴を項目別にまとめた商品情報とその項目間の関連を示した項目関連情報と項目毎の類似度情報とを格納する記憶手段と、検索対象となる検索対象商品と検索に対する判断基準及び前記項目毎の重要度とを入力する入力手段と、前記記憶手段から商品情報を取り出してその商品における項目毎の類似度情報を検索し、その類似度情報と前記項目毎の重要度とから商品の類似度を算出する類似商品検索手段と、その類似商品検索手段の結果と入力された前記判断基準とから類似商品を選択する類似商品

類似商品において、類似判断基準及び項目別重要度を、検索者自らが設定することができるので、検索者の感性や検索時の必要性に合致した類似商品の検出が可能となる。

【0098】また、類似商品検索システムにおいて、前記類似商品検出手段は、類似を判定する商品の複数の項目に関連性がある場合に、その項目内容間を関連付けて商品の類似度を算出することにより、類似商品の検索時に、初めに設定した商品とかけ離れた商品が検出されるのを防止できるので、類似商品の検索精度を向上することが可能となる。

【0099】以上、本発明者によってなされた発明を、前記実施例に基づき具体的に説明したが、本発明は、前記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能であることは勿論である。

【0100】

【発明の効果】本願において開示される発明のうち代表的なものによって得られる効果を簡単に説明すれば、下記のとおりである。

【0101】検索者の検索したい類似商品において、類似判断基準及び項目別重要度を、検索者自らが設定することができるので、検索者の感性や検索時の必要性に合致した類似商品の検出が可能となる。

【0102】また、類似商品の検索時に、各項目における類似判定を関連性のある項目については、項目内容間を関連付けることにより、初めに設定した商品とかけ離れた商品が検出されるのを防止できるので、類似商品の検索精度を向上することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である類似商品検索システムの構成を説明するためのブロック図である。

【図2】本実施例の商品情報のレコード構成図である。

【図3】本実施例の項目別類似度マスタのレコード構成図である。

【図4】本実施例の類似商品検索システムにおける類似商品の検索手順を説明するためのフローチャートである。

【図5】図4のステップ114の商品の類似度検索の処理を説明するためのフローチャートである。

【図6】図5のステップ203の項目別類似度検索の処理を説明するためのフローチャートである。

【図7】図5のステップ206の子項目の類似度検索の処理を説明するためのフローチャートである。

【図8】本実施例の類似商品検索システムの重み付け入力の表示画面を示した図である。

【図9】本実施例の類似商品検索システムの類似商品検出基準値入力の表示画面を示した図である。

【図10】本実施例の類似商品検索システムにおける類

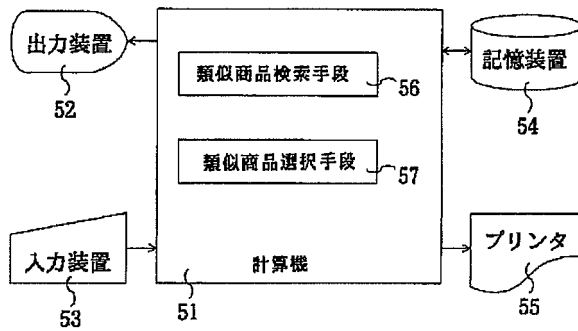
## 【符号の説明】

51…計算機、52…出力装置、53…入力装置、54\*

\*…記憶装置、55…プリンタ、56…類似商品検索手段、57…類似商品選択手段。

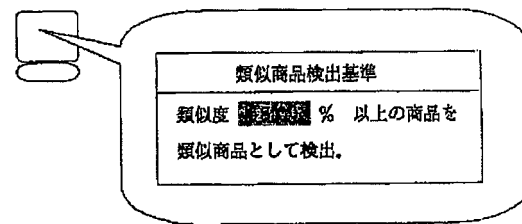
【図 1】

図 1



【図 9】

図 9



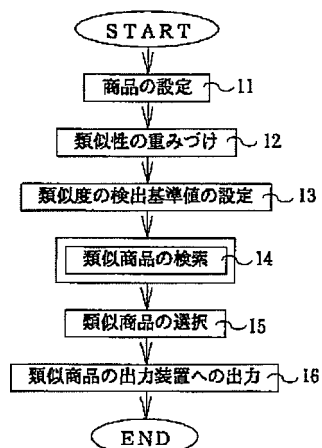
【図 2】

図 2

商品品番	商品名称	アイテム名	デザイン			素材名	品質	イメージ	...
MM1001	ロングタイトスカート	スカート	要素	種類	スカート丈 タイト ロング...	ビケ	コットン 100%	カジュアル	...
⋮	⋮	⋮	69	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

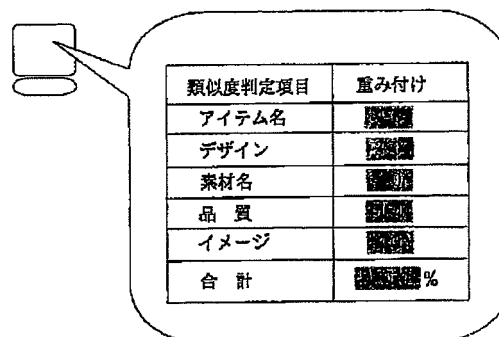
【図 4】

図 4



【図 8】

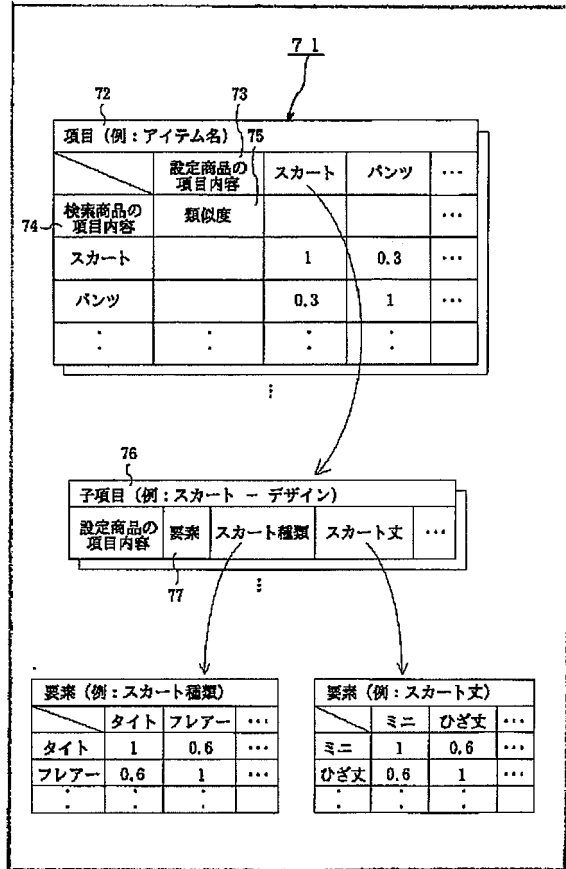
図 8





【図3】

図3



【図10】

図10

<商品の設定>

商品品番	商品名称	アイテム名	デザイン	素材名	品質	イメージ
MN0001	ロングタイトスカート	スカート	種類 丈の長さ	ジャージ	ウール	キャリア
			タイト ロング		100%	

<類似商品検出基準値の入力>

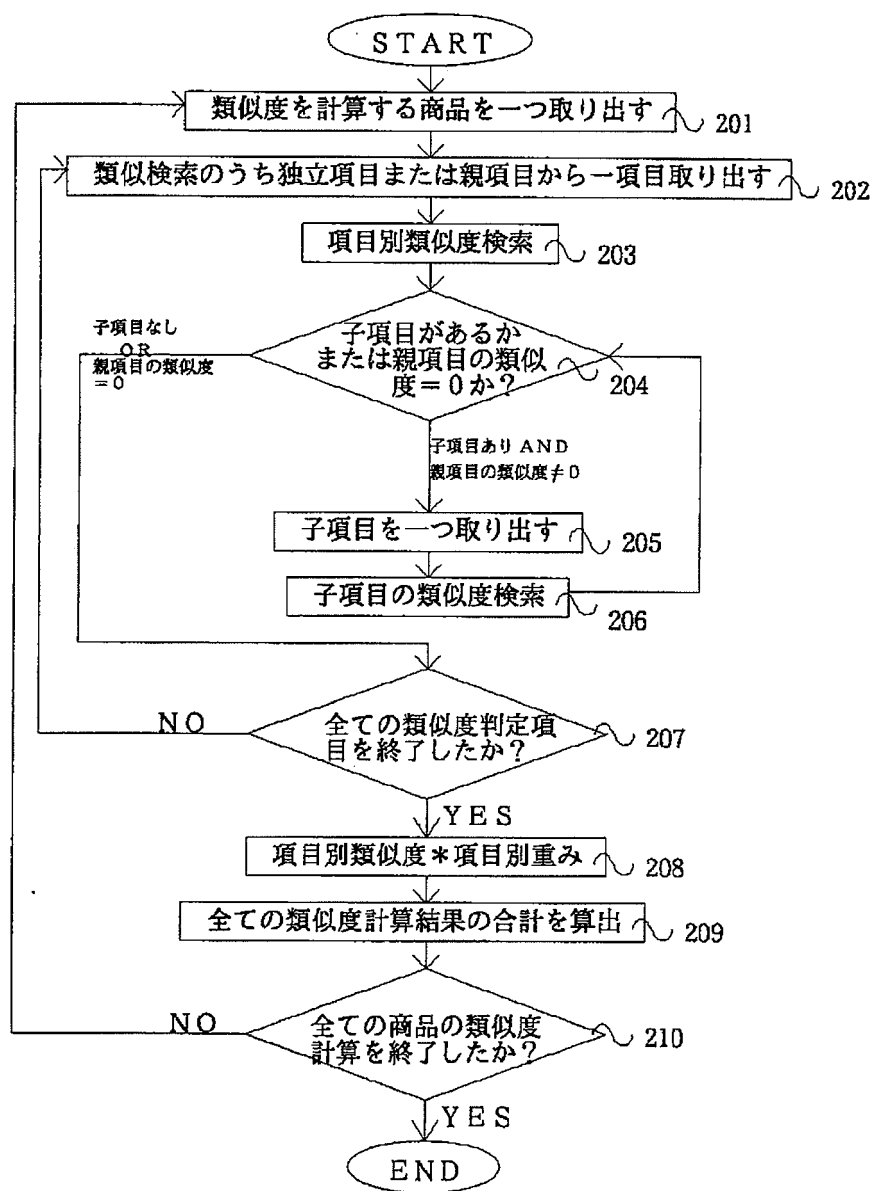
80%

<類似商品検索>

類似判定項目	重み付け(a)	商品 A	類似度(b)	a * b
商品名称		フレアスカート		
アイテム名	40	スカート	1.0	0.4
デザイン 種類		フレア	0.2	a*(bの平均値)
デザイン 丈の長さ	10	ミディアム	0.5	0.035
素材名	30	ジョーゼット	0.7	0.21
品質	10	70%ナイロン10%	0.9	0.09
イメージ	10	エレガンス	0.7	0.07
合計	100%			

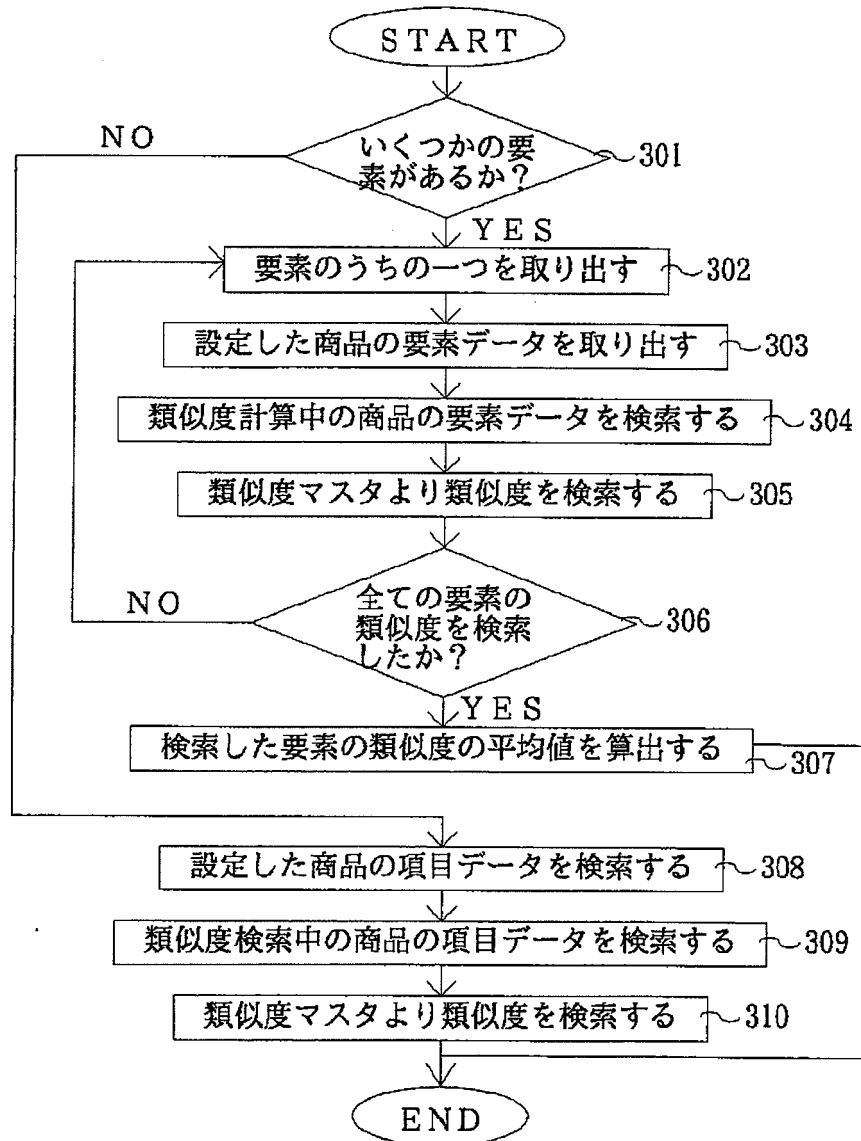
【図 5】

## 図 5



【図6】

## 図 6



【図7】

## 図 7

